



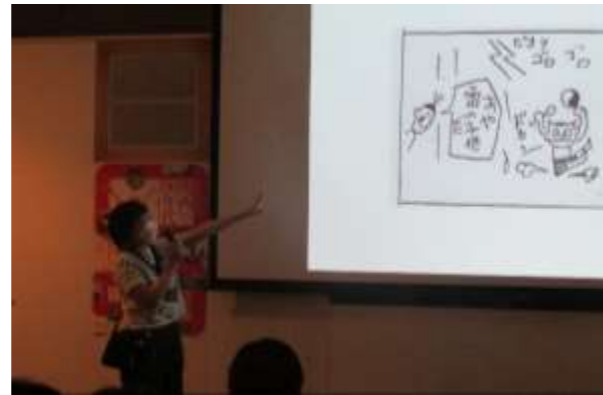
2022年コレクション展 I 小企画「元永定正」展関連 こどものイベント
「も～やんのおもしろい絵をみる会」

- 開催日時：2022年6月26日(日)
- 参加者：こども10名、大人12名
- 対象：小学生～高校生と保護者
- 参加費：無料(保護者の方は観覧料500円)
- 場所：常設展示室、レクチャールーム

■概要
も～やんの愛称で親しまれた元永定正さんがどんな作品をかいたのか、学芸員の話や絵本の読み聞かせを行った後、展示室でお気に入りの作品を見つけたり、気づいたことや感じたことなどを発表したりしました。

■1 オリエンテーションと遊免学芸員によるレクチャー

展示会担当の遊免学芸員が元永さんや展示会の内容について解説しました。漫画の力をつけるために絵を習い始めたこと、30歳の時に故郷の伊賀から神戸に移り住み、新しい絵を描き始めたこと、芦屋の展示会に出品しほめられたことをきっかけに画家を目指したことなどを元永さんが描いた漫画や作品の画像を紹介しながらお話ししました。



◇こどもの感想（※原文をそのまま紹介）

- ・はっぴょうがたのしかった。
- ・も～やんのえを見てとても楽しかったです。またきたいです。
- ・いろいろな作品を見れて楽しかったです。

◇保護者の感想

- ・単に絵を鑑賞するのでは難しいですが、説明して頂いたので、より興味を持ってみられたように思います。
- ・発表を通じて、感じた事を言葉にすることができてよかった。

■2 読み聞かせ

美術館のボランティアが元永さんが描いた絵本『もこもこもこ』『ぱびぶべぼ』の読み聞かせをしました。「これまで元永さんの絵本を読んだことある？」と聞くと、数人の子が手をあげていました。床にマットを敷いて、読み聞かせをする人の前に座って聞きました。元永さんの作品の世界にひき込まれている様子でした。



■4 ふりかえり

展示室での鑑賞のあとは、レクチャールームに戻ってふりかえりをしました。まず、「読み聞かせをした絵本の中に出てくる絵と似ている作品を見つけてみよう」というワークシートのお題について聞いてみました。タブレットで撮った写真を投影しながら、似ている形や色などについて見つけたことや気づいたことを発表してくれました。中には絵本のどのページと似ているかまで教えてくれた子がいて、よく見ていることにびっくりしました。また、「《作品》というタイトルの作品を見つけて名前をつけてみよう」というお題には、描かれているものがぐにゃぐにゃして酔いそうだから「船酔い」など、自分なりに考えたことを発表してくれました。お気に入りの作品についても、撮った写真を見せながらどんなところが気に入ったのか話してもらいました。最後に「元永さんの作品、面白かったかな？」と聞くと、たくさんの子が面白かったと答えてくれました。

□まとめ

も～やんワールドへの入口として行った絵本の読み聞かせでは、皆さん熱心に見て聞いてくれました。その後、展示室でワークシートに挑戦してもらったのですが、も～やんの作品は《作品》という名前ばかりでややこしいので、選んだ《作品》がどの作品かわかるように、タブレットで写真を撮ってもらいました。操作は難しくないか、落としてしまわないか心配しましたが、皆さん慣れた手つきでどんどん撮っていて、さすがデジタルネイティブと感心！ふりかえりでは、絵本との共通点をたくさん発表してくれたり、《作品》という名前の作品にユニークな題名を付けてくれたり、とても楽しかったです。きっと、も～やんも天国で大笑したことでしょう。当館の美術情報センターでは、いろいろなアーティストが作った絵本を無料で読むことができますので、ぜひまた美術館に遊びに来てくださいね。
(遊免学芸員)



■3 鑑賞活動

ミュージアムティーチャーからワークシートやタブレットの使い方、鑑賞のマナーについての話を聞いて元永展へ出発！最初、タブレットでお気に入りの作品などの写真を撮ることに夢中になっていましたが、しばらくしたら作品1点1点に向き合い、じっくり鑑賞していました。少しはなれたり、近づいて見たり、床にすわってワークシートにたくさん書き込んだりしていました。

